

## 職場環境等要件

区分	内容	法人の取り組み
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	・法人基本理念を各部所に掲示、・年1回の職員全体研修で理解周知、・職員のやりがいを促進し継続性を高める
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築(採用の実績でも可)	資格や年齢にこだわらず幅広い求人・採用を行っている
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	・資格取得促進するために資格手当を設定 ・より専門性の高い介護技術を取得しようとするものに対する喀痰吸引、認知症ケア、リーダー研修等研修受講支援、研修費の補助、交通費の支給
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	管理者などとの定期的な面談の機会を設置予定
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	・育児介護休業規定の整備 ・有給休暇取得促進の呼びかけ
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	・時間単位での有給休暇取得 ・育児・介護などの事情に合わせた柔軟な短時間勤務シフト調整 ・職員の希望に合わせた非正規職員から正規職員への登用
	有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標(例えば、1週間以上の休暇を年に●回取得、付与日数のうち●%以上を取得)を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている	・法人より有給休暇取得の呼びかけや ・主任・各部署リーダーにより勤務シフト調整を行い在勤者の業務の円滑化を図る
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	各フロア・部署ごとに従業員のための休憩室を設置
	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	・介護機器の導入(リフト浴槽・シャワー浴槽) ・介護技術の研修等により腰痛予防支援を行う
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	事故防止委員会を設置、緊急時の対応マニュアルの策定

生産性向上(業務改善及び働く環境改善)のための取組	厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築(委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等)を行っている	業務改善チームの構築
	5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備を行っている	フロア・部署ごとに担当者を決め、日々整備を行っている
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	・マニュアルの作成・見直しを随時行っている ・介護ソフトを導入し記録を統一化、施設全体で情報共有できる仕組みを構築
	介護ソフト(記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの)、情報端末(タブレット端末、スマートフォン端末等)の導入	介護ソフトを導入しタブレット端末やノートPCにより記録業務軽減、情報共有の取り組みを実施
	介護ロボット(見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等)又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器(ビジネスチャットツール含む)の導入	・眠リスクャン、シルエットセンサーを整備し見守り支援を行い、業務改善に取り組む ・介護機器の導入(リフト浴槽・シャワー浴槽)
	業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備。特に、間接業務(食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等)がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う	介護補助員が清掃業務やベッドメイク、洗濯や畳みものなどの間接業務を担っている
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	・毎朝、全フロア合同のミーティングを行い、ケアの内容の報告・改善を行っている ・フロア会議等により、個々職員の意見の吸い上げを行い、勤務環境やケア内容の改善を行っている
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	・地域小学校行事や公民館祭りへの参加により地域住民との文化交流を行う ・地域保育園の慰問活動の受け入れを行う
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	毎年、法人職員全体研修を行い、理念や尊厳の保持に対する理解周知を図っている